

令和 8 年度 63 回生 授業概要（シラバス）

科目名	暮らしを支える看護技術Ⅰ	分野/教育内容	専門分野/地域・在宅看護論
開講年次 時期	2 年後期 令和 8 年 7 月	単位数/時間	1 単位/15 時間
担当講師名	畠山 千章	所属・役職	宮古高等看護学院
		資格・免許	看護師
授業の概要	看護を必要とする人々の日常生活支援技術を学ぶ		
到達目標	1. 日常生活支援を必要とする療養者の特徴とヘルスアセスメントについて理解できる 2. 在宅における療養支援方法と留意点について理解できる		
事前学習 内容	1. 訪問看護制度について復習する。 2. 講義に関連する章を熟読する。 3. 次回講義に向けて、毎回予習課題を指示する。		
成績評価の 方法	1) 終講試験 100 点満点（6 割未満は再試験対象） 2) 出席状況 3) 課題の取り組み状況（内容の不足や提出期限超過は減点対象）		
使用 テキスト	ナーシンググラフィカ 地域在宅看護論② 地域療養を支える技術：メディカ出版 学生用：【電子版】第 3 版第 2 刷、2026. 講師用：【紙版】 第 3 版第 2 刷、2026. ナーシンググラフィカ 地域在宅看護論① 地域療養を支えるケア：メディカ出版 学生用：【電子版】第 8 版第 2 刷、2026. 講師用：【紙版】 第 8 版第 1 刷、2025.		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第 1 回	在宅療養生活を支える基本的な技術		講義
第 2 回	食生活に対する支援		講義
第 3 回	熱中症予防		講義
第 4 回	感染予防		講義
第 5 回	清潔援助		講義
第 6 回	肢位の保持と移動支援		講義
第 7 回	排泄に関する支援		講義
	終講試験		
履修上の留 意点	・既習の知識（病態・基礎看護技術・制度）を活用しながら在宅特有の看護援助方法を学習できるように、関連事項について主体的に予習・復習に取り組みましょう。 ・グループワークを行う際は、相手の考えを尊重する姿勢で臨むとともに、自己の考えを積極的に発言しましょう。 ・授業資料や自己学習の成果物は、3 年次の地域・在宅看護論実習に活用できるようファイリングしておきましょう。		